

1. 知床五湖

実施計画策定事項	基本計画での整理	課題	対策	手法	期待される効果	実行上の問題	平成18年度に実施・検討すべき事項	環境省以外の対応	H18	H19	H20~
① 作成の目的											
② 保護及び利用の現状											
ア 自然環境の特性											
イ 利用の現状											
ウ 課題・問題点	○利用集中による渋滞・混雑対策 ○利用施設の改善 ○利用ルールの確立 ○情報提供・普及啓発 等										
③ 基本方針	○一般利用者の快適で安全・安定的な利用の確保 ○自然の持続的な保全 ○地域の観光産業の維持										
④ 利用ルール	○望ましい交通システム検討 ○五湖周回歩道の利用調整手法										
ア 利用のコントロール		五湖駐車場の渋滞	マイカーの総量規制	・規別一五湖間のマイカー利用を規制 ・道道知床公園線のマイカー利用を規制 ・シャトルバス活用の周知 ・ウトロ巡回バスの導入	・渋滞の解消 ・渋滞の解消	・地域の合意 ・関係機関の協力 ・規制の方法	・導入可能性、具体的方法の検討 ・周辺地域全体の交通システムの検討 ・マイカー規制導入時の効果を評価するための調査を実施	・マイカー規制協議会	→	○	○
		五湖歩道利用の集中	3-5湖の利用コントロール	コントロール手法の検討・実施(検討案) ・1-2湖のクマ対策の強化 ・1-2湖への仮設電気柵(ゲート)の設置 ・3-5湖のクマ対策の軽減(最小限)	・既存歩道の利用コントロールによる分散	・地域の合意	・コントロールの方法としてより具体的な手法の提示		○	○	
			既存歩道の利用コントロール	既存歩道入口へのゲート機能の付加 利用コントロール手法の検討・実施 ・立入条件 ・利用者数設定 ・事前レクチャー	高架木道利用者(自由利用)と五湖歩道利用者の分散による集中の解消・利用環境の向上	・地域の合意					→
イ 利用の心得	○ルール・マナーの作成(共通事項・地域別事項)	利用者のマナー低下	基本情報の提供	「ルールとマナー(五湖版)」の作成・配布 ・3-5湖コントロールについても解説	・利用者のマナー向上	・基本となるルールの作成も必要(=中央部地区版利用の心得の作成)	・昨年度作成のマナーペーパーの改定・充実		○		
			ガイドラインの導入	エコツアーガイドラインの策定・周知	・ガイド事業者、客等のマナー向上	・事業者等の合意	・ガイドラインの策定	・エコリズム推進協議会	→	○	
⑤ 施設整備計画	○高架木道の延長整備 ○ミニビジターセンターの整備 ○その他の整備	五湖歩道利用の集中 ヒグマ出没による歩道閉鎖	クマ対策歩道の整備	高架木道の整備(H17年度)・利用	・団体ツアーの利用による利用者の分散 ・クマ出没による既存歩道閉鎖時における利用	・管理体制の構築、電気柵の管理	・効果の検証(=モニタリングカウンターデータ解析)		○		
		五湖歩道利用の集中	高架木道の利用促進	高架木道の延長検討 ・ルート選定 高架木道の延長	・高架木道の魅力向上による利用の促進 ・高架木道の魅力向上による利用の促進	・景観、動植物等への配慮 ・地域の合意 ・既存歩道の利用コントロール手法の決定	・延長のための調査の実施		○	○	
		五湖歩道利用者の渋滞	滞留スペースの確保	ガイド説明や休憩などによる渋滞発生地点周辺における小規模デッキの整備	・両者により渋滞緩和	・適地選定 ・事業主体の整理	・適地選定(混雑時調査の実施) ・予算措置		○	○	
			ショートカットの整備	渋滞発生地点におけるショートカットの整備(1湖から戻る地点等局地的に検討)					○	○	
		五湖歩道の荒廃	木道の補修	木道荒廃地点の補修	・利用環境改善			・網走支庁	○		
		情報提供機能の不足	基本情報の提供	ミニビジターセンターの整備検討 ミニビジターセンターの整備	・利用者のマナー向上 ・ヒグマに対する利用者の意識向上	・設置主体 ・管理主体	・現レストハウスの有効活用		→	○	○
イ 保護施設の整備・補修	○五湖周回歩道の補修等 ・踏込防止、植生保護対策等	植生の破壊	踏分け道の封鎖	ロープ・岩・枝等による踏分け道の封鎖	・踏圧がなくなることによる植生の回復	・封鎖による混雑を助長する可能性あり	・ロープ・岩・枝等による踏分け道の封鎖		○		
ウ 利用分散対策	○100m運動地への利用分散										
⑥ 管理・運営計画											
ア 巡視・指導											
イ 安全管理	○ヒグマ対策	ヒグマとの軋轢	歩道の封鎖	電気柵の設置等によるヒグマとの接近回避	・ヒグマとの軋轢回避			・斜里町 ・知床財団	○		
ウ 野生動物保護											
エ ガイドシステム	○五湖周回歩道のガイドシステム										
オ 広報・周知	○情報提供	情報提供機能の不足	基本情報の提供	HP等の活用	・利用者のマナー向上	・コンテンツの再検討	・利用ルールを周知するための情報を追加		○	○	
		渋滞情報の提供	提供手法の検討・実施(検討案) ・電光掲示板の活用 ・道の駅の活用 ・インターネットなど	・利用の分散	・関係機関の協力	・どこにどのような情報を載せるかどうかの検討 ・実際に効果を見ながら検討		・北海道開発局	○	○	
		五湖園地トイレの不足	基本情報の提供	「ルールとマナー」等により、トイレが少ないこと、トイレの位置、標準移動時間などを周知	・トイレ利用者の減少		・トイレが少ないことをパンフレットやインターネットで周知		○		
		五湖歩道利用の集中	高架木道の利用促進	チラシの作成・配布 大手旅行代理店へのアピール	・高架木道のメリット(安全・安定)を活かした利用の促進	・時期的に遅い可能性	・パンフレットへの記載 ・HPによる情報提供		○		
⑦ 関連地域での対策	○夜間動物観察対策 ○冬期利用対策	道道知床公園線での夜間動物観察集中	現状把握とルール・マナーの作成	・調査結果等によるルール・マナーの作成	・野生動物への影響回避	・影響の把握手法	・アンケートの実施		→	○	
		観別・岩尾別台地上の冬期寺領による鳥類等への影響	現状把握とルール・マナーの作成	・調査結果等によるルール・マナーの作成	・野生動物への影響回避	・影響の把握手法	・アンケートの実施		→	○	
⑧ モニタリング計画		利用者数調査 植生荒廃地点調査	利用者数調査 植生荒廃地点調査	カウンターデータの解析 植生荒廃地点の確認	・利用者数・植生荒廃地点の確認				○	○	○